

## 内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

### A-1 生活支援の基本と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 生活支援の基本		
1	A-1-(1)-① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるように工夫している。	b
<コメント> 一日の生活の中で利用者の体調に合わせたうえで、食事の30分前には起床し、夕食後19時頃にはベッドに着くように時間を設けている。趣味(折り紙・塗り絵・書道)や月1回先生による指導で音楽クラブ(民謡・懐メロ・歌謡曲等)を設けて楽しみな活動となっている。		
2	A-1-(1)-② 利用者の心身の状況に合わせて自立した生活が営めるよう支援している。	b
<コメント> 洗濯物のたたみ方や収納、また自分の居室の整理整頓や掃除など利用者はできることに取組み、機能維持と生きがいに繋がっている。施設に移動売店が来た時、利用者は職員の付き添いで買い物をしており楽しみや喜びに繋がっている。		
3	A-1-(1)-③ 利用者の心身の状況に応じた生活支援(生活相談等)を行っている。	b
<コメント> 入所前の馴染みの美容院に行きたいなどの希望に沿って、自立に配慮した支援を行っている。ケアプラン会議で検討したプランに基づいて利用者のできない部分を職員が共有し、生活支援を行っている。		
4	A-1-(1)-④ 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	b
<コメント> 食事の時は会話のできる利用者と同じテーブルにし、耳の遠い方や暴言を吐いたりした時は、職員が間に入り取り持つようにしている。話すことが困難な利用者には個別に配慮し、居室でラジオを聞いて楽しんだりしている。		
A-1-(2) 権利擁護		
5	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	c
<コメント> 身体拘束等適正化の指針が策定されており、職員に対して高齢者虐待防止や身体拘束についての研修を行い周知している。虐待の届出・報告は市の手順に従っているが、施設独自の虐待の届出・報告についての手順等が明確にされていないので、職員への周知や手順等を明確にすることに期待したい。		

### A-2 環境の整備

		第三者評価結果
A-2-(1) 利用者の快適性への配慮		
6	A-2-(1)-① 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	b
<コメント> 施設の清掃は週2回委託業者が入り実施している。できる利用者は身の回りの整理・整頓・清掃を行い、居室内の環境づくりは利用者の一人ひとりの思いに任せて、家族等の写真を貼ったり趣味の物を飾ったりしてその人らしい居室になっている。		

## 内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

### A-3 生活支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 利用者の状況に応じた支援		
7	A-3-(1)-① 入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 入浴時はバイタル測定を行い変化があれば看護師と相談し、入浴を避けシャワーに切り替えたりして対応している。脱衣室や浴室の室温や浴槽・湯温管理が行われ、また床の滑り止めや浴室天井・壁に水滴防止塗装が施され、リフト浴も設置して利用者に快適な入浴支援を実施している。</p>		
8	A-3-(1)-② 排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 利用開始時に排泄に関するアセスメント表で確認し、利用者の心身の状況を踏まえた排泄支援を行っている。カーテンやつい立使用でプライバシーに配慮し、各居室や共用空間にオゾン発生器を設置して臭い防止に努め、快適に過ごせるように支援している。</p>		
9	A-3-(1)-③ 移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 作業療法士によるリハビリテーション実施計画書、評価表が作成され、福祉用具の選定や個別の機能訓練を実施している。トイレや食堂への移動など毎日の生活の中に目標を取り入れ、利用者の意欲を促す工夫をしている。</p>		
A-3-(2) 食生活		
10	A-3-(2)-① 食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a
<p>&lt;コメント&gt; 地産地消に力を入れ地元の食材料を献立に多く取り入れ、食事は楽しく・おいしく・満腹感を目標にしており利用者も満足している。選択食やそば打ち・餅つき・おやつ作りなど利用者も参加する行事を計画し、楽しみにしている。</p>		
11	A-3-(2)-② 食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt; 心身の状況や嚥下能力に合わせて管理栄養士による栄養ケア計画書が作成され、個別に食事形態などを工夫して栄養摂取量の観察・記録を実施し健康管理に繋げている。</p>		
12	A-3-(2)-③ 利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt; 歯科衛生士による口腔衛生管理により口腔状態及び咀嚼・嚥下機能の定期的なチェックを行い、また歯科医師の定期往診があり異常の早期発見・早期治療に努めている。毎食後口腔ケアを実施している。</p>		
A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア		
13	A-3-(3)-① 褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 体位変換チェック表に記録し、看護師が処置経過観察をしている。褥瘡専門の医療機関の研修会を職員が受講して最新の情報を得たり、オムツのメーカーから当て方の指導を受けるなど関係職種が連携して予防と早期発見に努めている。</p>		
A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養		
14	A-3-(4)-① 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt; 利用者の喀痰吸引や経管栄養などの医療的ケアは、医師の指示を得て看護師が実施している。研修を受けた有資格の介護職員が実施研修を行い現在体制整備中である。</p>		

## 内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

A-3-(5) 機能訓練、介護予防		
15	A-3-(5)-① 利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	a
<コメント> 機能訓練指導員の利用者一人ひとりに合わせたプログラムで、リハビリや生活リハビリに取組み機能維持に努めている。定期評価は訓練士が行い職員会議で確認し、必要に応じて見直しをしている。ベッドで過ごすことが多い人でも必ず離床して座位を保てるよう取り組んでいる。		
A-3-(6) 認知症ケア		
16	A-3-(6)-① 認知症の状態に配慮したケアを行っている。	b
<コメント> 認知症ケアマニュアルに沿い、職員は認知症リーダー研修会や内部研修で学び、事例検討などを重ねながらケアにあたっている。身体拘束はしないことを掲げ、入所したばかりで落ち着かない様子が見られた場合、深夜帯はオンコールで副施設長がかけつける体制を取り、安心できる環境整備に力を入れている。		
A-3-(7) 急変時の対応		
17	A-3-(7)-① 利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	b
<コメント> 健康管理・急変時対応マニュアル、事故防止・薬剤管理マニュアルを作成している。毎日の気づきと記録をもとに看護師と介護職員が協力・連携を図り利用者の健康維持に努めている。		
A-3-(8) 終末期の対応		
18	A-3-(8)-① 利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	b
<コメント> 現在終末期対応の必要な利用者が35名おり、入所時も含め個人面談をして家族等から看取りの意向確認を行い、医師・医療機関との連携で看取りを行っている。重度化・高齢化に伴い看取り希望が増えており、評価会議のなかで家族からの感謝の言葉や思い出話などを聞くことができ、若い職員の精神的負担軽減にも取組み次の支援に繋げている。		

### A-4 家族等との連携

		第三者評価結果
A-4-(1) 家族等との連携		
19	A-4-(1)-① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	b
<コメント> 家族等とはケアプランの変更時や介護認定更新時、衣類の入れ替えなどに来てもらい話をしている。通院は家族も同行して医師の話を直接聞いてもらうよう取組んでいる。行事の案内は都度行い、多くの方の参加を得ている。毎年秋に実施している「いきいき祭」では農産物販売や餅を振る舞い、600名に及ぶ家族・地域住民が訪れ交流し利用者の楽しみな行事となっている。		

### A-5 サービス提供体制

		第三者評価結果
A-5-(1) 安定的・継続的なサービス提供体制		
20	A-5-(1)-① 安定的で継続的なサービス提供体制を整え、取組を行っている。	評価外
<コメント>		